

4 月 21 日（日）に行われた平成 31 春期の情報処理技術者試験について、7 回目の実施となった情報セキュリティマネジメント試験（以下 SG 試験）の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■情報セキュリティマネジメント試験(SG)

[平成 31 年春期の情報セキュリティマネジメント試験 統計情報]

応募者	18,129 人
受験者	13,761 人
合格者	7,148 人
合格率	51.9%

試験結果は合格率が 51.9%で、初回から 88.0%→70.3%→66.4%→50.4%→53.7%→46.3%→51.9%と最近では 50%前後で推移しています。本来受験対象としている一般企業の受験者が増えてきた中で、午後試験で出題される問題が長文で、内容の読取りが難しい内容といえます。

問題の難易度について、統計データから計算した午前試験の平均点の推測値は 66.2 点（初回 81.1 点→70.4 点→70.6 点→61.9 点→68.7 点→62.3 点→66.2 点）で前回より上がっています。

一方、午後試験の平均点の推測値は 61.9 点（初回 81.7 点→72.8 点→68.2 点→66.1 点→62.3 点→63.0 点→61.9 点）で、こちらは若干ですが下がっています。

試験センターから発表された SG 試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。

[平成 31 年春期 統計情報(情報セキュリティマネジメント 得点分布)]

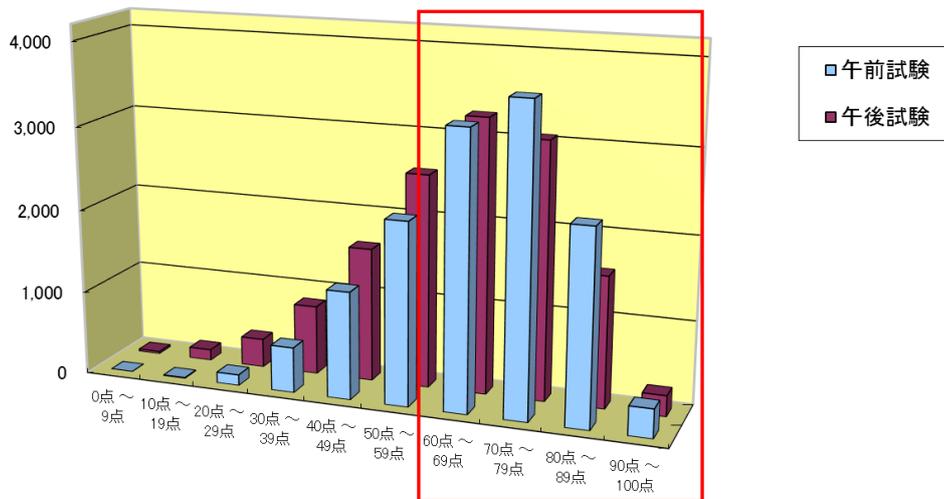
得点	午前試験	午後試験
0 点 ～ 9 点	1	26
10 点 ～ 19 点	9	132
20 点 ～ 29 点	129	346
30 点 ～ 39 点	545	833
40 点 ～ 49 点	1,290	1,608
50 点 ～ 59 点	2,182	2,552
60 点 ～ 69 点	3,291	3,266
70 点 ～ 79 点	3,649	3,059
80 点 ～ 89 点	2,319	1,570
90 点 ～ 100 点	346	251
計	13,761	13,643

午前と午後の差 (118)

合格者数 7,148

	午前試験	午後試験
60 点以上合計	9,605	8,146
合格者数との差	2,457	998

平成31年春 統計情報（情報セキュリティマネジメント試験 得点分布）



今回の結果を分析すると、午前試験で合格基準点の60点以上の人は9,605人で、受験者の69.8%になります。前回59.8%から10%も増加しており、今回の午前試験は前回と比べてやや易しかったといえます。また、午後試験が基準の60点以上だった人は8,146人で受験者の59.7%（前回61.0%）にあたり、午後試験は前回とほぼ同じ難易度だったといえます。

今回の試験の傾向や特徴を少し細かい内容でまとめると、次のようになります。

〔午前問題〕

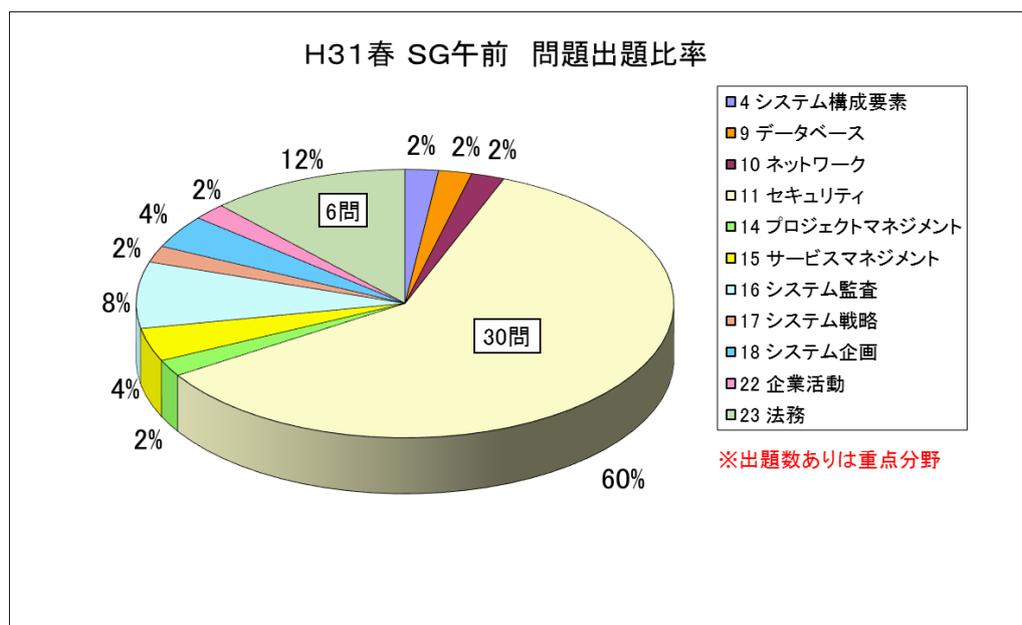
- ・今回の出題数としては、SG試験の重点分野のテクノロジー（セキュリティ）が30問、ストラテジ（法務）が6問の計36問（約7割）ありました。その他の出題分野としてはマネジメント系が7問（前回8問）、テクノロジー系が3問（前回3問、システム構成要素、データベース、ネットワーク）、ストラテジ4問（前回4問）でした。
- ・新試験7回目の実施ですが、過去問題は前回とほぼ同じで全体の約5割ありました。出題された過去問題としては基本情報技術者試験が10問（前回5問）とかなり増え、応用情報技術者試験の過去問が2問（前回9問）と減っています。また、今回はSG試験自身の過去問が13問（前回7問）と増えており、今後もSGの過去問が増えていくと予想します。

今回、基本情報の過去問が増え、応用情報の過去問が減っており、予想得点が前回よりも上昇した理由といえます。

- ・他の試験でこれまでに不出題されていない新傾向といえる問題は7問ありました。前回の10問よりは少ない出題数でした。

- 問9 組織での情報資産管理台帳の記入方法
- 問14 PCI DSSにおけるカードセキュリティコードの取扱方法
- 問24 XML署名の特徴
- 問31 JIS Q 15001:2017に関する記述
- 問32 "政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準"
- 問34 ガイドラインによる事業者のファイル作成の禁止
- 問40 保証型の監査と助言型の監査に関する記述

平成 31 年春期の情報セキュリティマネジメント試験



今回出題されたセキュリティ分野の問題の中で、攻撃手法関連の問題が 3 問ありましたが（前回は 5 問）、平均は 2～3 問の出題数でしたので例年と同じといえます。また、暗号化と認証の問題は 7 問で前回の 5 問から増えました。

今回のほかの特徴として、文章や用語問題で JIS の規格番号を明記して出題されている問題が前回と同じで 8 問あり多く出題されているといえます。JIS 規格の 27000 (2 問), 27001 (3 問), 27002 (1 問) のほか、JIS Q 15001 (個人情報保護マネジメントシステム) と JIS Q 27017 (クラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践の規範) が 1 問ずつ出題されています。規格類をすべて理解するのは大変ですが、資格を実務で生かすためにも一度は読んでポイントを理解しておく必要があります。

また、経済産業省（情報セキュリティ監査基準 実施基準ガイドライン）や IPA（中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン、内部不正防止ガイドライン）からも少ないですが出題されています。これらは実務でも大変参考になる資料ですので、読んでおくことをお勧めします。

〔午後問題〕

今回の午後問題の出題テーマは次のとおりでした。

問	テーマ	内容	難易度
1	サイバー攻撃を想定した演習	演習の種類、演習のシナリオで想定している段階、演習中の質問に対する回答、シナリオに対応する行為、証拠保全、インシデント対応の手順の正しさ、OS の修了処理、演習結果の振り返り、演習実施回数	普通
2	企業における情報セキュリティ管理	ISMS 活動、情報資産目録の見直し、施策に関連する法令と見直す ISMS 文書、クレジットカード関連基準、攻撃手法、SNS 利用所の情報セキュリティ対策（公式情報の発信、アカウント乗っ取り防止、順守事項、推奨事項）、追加ロールと付与権限	普通～やや難

3	情報セキュリティの自己点検	管理員間の情報共有リスク，自己点検規程と内部監査規程，ランサムウェアの脅威，支店におけるチェック項目，ソフトに対する CVSS v3 の脆弱性評価結果，IT 資産管理ツール，シャドーIT と BYOD，チェック項目の見直し，アプリの利用リスクと対応	普通
---	---------------	--	----

前回の午後試験問題はボリュームが減りましたが、今回は問 1 が 13 ページ（前回 14 ページ）、問 2 が 14 ページ（前回 10 ページ）、問 3 が 12 ページ（前回 11 ページ）で、問 2 の問題文が多かったといえます。

午後試験は 3 問すべてに解答する必要があるので、問題文を根気よく丁寧に読んでいく読解力を付ける演習が重要です。問題ごとに解答するマーク数が異なりますが、各問 10～11 個（前回 9～11 個）の解答マーク数でした。選択肢は記号の組合せなど紛らわしいものが多く、選択する際には十分に注意が必要です。

次回以降も同じ程度の問題ボリュームと思われませんが、1 問に 30 分かかれることを意識して、長い説明文をあせらずに読み、内容をしっかり理解するようにしてください。問題演習で分からないと、途中であきらめて解答を見ってしまう人がいますが、途中でやめることなく、「解答時間 30 分と決めて」問題文からヒントを探すことを続け、最後の時間まで考えて、解答を見つける努力を続けていくと、演習した問題の数に比例して実践力を付けることができます。

【次回試験に向けて】

今回、SG 試験の合格率が若干ですが上がりました。しかし、IT を利活用する立場で業務に従事する人のための試験ということを考えると、出題内容は結構難しいといえます。今後の試験も今回と同じレベルと考えて対策する必要があります。業務で日常行われているセキュリティ対策関連の基礎知識を、日頃から少しずつ理解していくようにしましょう。

次回の試験対策として過去の試験の出題内容を理解し、IPA で公表されているセキュリティ関連のガイドラインや事例を理解しておきましょう。また、JIS 規格については、下記のサイトで画面上だけでも読むことができるので、JIS Q 27000、JIS Q 27001、JIS Q 27002 の用語の定義部分だけでも読んでおくことをお勧めします。

<http://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html>

午後試験問題がこここのところ解答しづらい問題が続いているので、合格点の 60 点を確実にクリアできるようにするため、問題読解力を付ける必要があります。午前対策で学習した知識を一通り理解したら事例への適用力を高められるように、午後試験の対策をしっかりと行ってください。まずは問題文に書かれている事例と状況などの理解ができるようにしましょう。

アイテックの参考書、問題集の活用をお勧めします。長文問題への対応力をしっかり身につけて受験してください。